

令和5年度 建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに
処遇の改善に関する徳島県計画推進会議 議事概要

日 時：令和6年1月11日（木）午後1時30分から午後2時30分まで

場 所：徳島県庁 11階講堂

出席者：[委員]金井委員、小島委員、佐藤委員、土橋委員、橋本委員、松島委員、南委員
(欠席) 井川委員

[オブザーバー]国土交通省四国地方整備局建政部計画・建設産業課長、
徳島労働局労働基準部健康安全課長、
徳島県商工労働観光部労働雇用戦略課長（代理）

発言者	議事・発言内容
(1) 徳島県計画の進捗状況について	
事務局	(資料1の説明)
金井委員長	説明ありがとうございました。それでは、徳島県計画の進捗状況についてご意見、ご質問いただければと思います。挙手の上、ご発言をお願いします。いかがでしょうか。 はい、お願いします。
松島委員	現場の建設Gメンによる立ち入り検査のところで指導改善を行ったとあるんですけども、どれぐらい件数があったか、もし把握されてましたら、参考までに教えていただきたいと思えます。
事務局	はい。3番のですね、建設Gメンということでやらせていただいております。建設Gメンにおきましては、県の方で一定のルールを作りまして、回数等も決めながら、抜き打ちで入って検査をしていくというような形でやらせていただいております。しっかり施工体制の調査、安全性ができていないかを確認しているような状況でございます。 ここにも書いておりますように、全部で、施工体制調査の建設Gメンは147件ということで、調査をしております、そのうち、何か問題があったという箇所は19か所ございました。内訳において、多いのが、現場での名札が付けられてないというものがあつたり、現場代理が不在、そして、施工体制台帳が現場に設置されてないというような件。あとは、管理業者証を持っていないというようなことが、本来、実際すべきようなところが、抜き打ちでこういう風な検査をしておりますので、出てくるところで、こういうことに対して、不都合な点でございますが、現場でしっかり指導させていただいてる状況でございます。以上です。
金井委員長	はい。他にいかがでしょうか。 はい、どうぞ。
小島委員	建設業協会の小島でございます。 ご説明いただいた、今後の話になるんですけど、まず、1番の下請け代金のうち、少なくとも労務相当分の現金払いというところで、今、中央建設業審議会の方で、10月3日に答申

があり、今後、国交省さんの方で、労務費の単価につきましては、中央建設業審議会が標準労務費を示すと、それを示したお金をちゃんと払って下さいねっていうやり方にしようということを決めております。

そのあり方については今後検討するということでもあります。ですから、積算体系が労務費とそれ以外のもの、2つに分かれていくという風にちょっと解釈をしております、1年ぐらいかけて、やっていくように思っておりますので、ここを少し注視をしながら、今後のこの計画の中に取り入れてもらえたらなと思っております。

それと、労働災害のところでございますけれども、昨年は、非常に熱中症が多く発生して、四国だけじゃなくて、東北、北陸、中部ですね、結構あったものでございます。ここで、入職促進というところから、各企業が求人をしたんですけど、建設業は来ない。なぜ来ないかというところ、熱中症で搬送されたり、WBGTが31以上だと、厚労省は、外出を控えなさい、日本体育協会は、運動を中止しなさいっていうことを出してるのに、建設業だけがなんでそれで働いてるんだということ、そういうところに行きたくないというのが、現状で、非常に困った状況でございます、ここで、私どもの方から、国交省本省の方に、技監まで説明してもらったんですけど、熱中症対策として、WBGTが31以上あるような日については、現場を休んで、傍から見ても、ちゃんと対処してるよっていうような施策を出してくれと、一応、要望を出させてもらっております。現実的には、沖縄は、亜熱帯割増というのがありまして、土木歩掛の25パーセント増額されております。

参考：<https://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/nousui/nns/qwttopics/pdf/anettai.pdf>

そういうものも、導入も含めて、来年度は、熱中症対策としての経費の使い方を、ちゃんと出してくれと、要は、WBGTが31の時は現場を止めて、後期を伸ばしながらやってくれという要望をさせてもらっております。熱中症が労働災害かどうかちょっとわかりませんが、ひどい時には入院したりすることも起こりうるので、そういう対策を要望させていただいてるところでございます。

それと、キャリアアップシステムですけど、当然、私どもも、普及には過去3年間と、取り扱い窓口も設けさせていただきましたし、説明会も順次、開催をさせていただいております。今度、2月に、また、開催をさせていただきます。キャリアについては、今後、発注者側の導入と、その導入したことによるメリット、簡素化等のメリットについて、ある程度お示しをいただけたらなと思っております。

DXにつきましては、国を挙げてDX化を進めようとしてるわけで、業界も、逃すことなくやっていきたい。DX化っていうのは、裏を返せば、見える化でございますので、責任の所在を明らかにしていく、発注者、受注者、あとも、はっきりしていくということになろうかと思っておりますので、この辺りの、責任の範囲の明確化っていうのが、急の課題であるんじゃないかなと思っております。これは、進めざるを得ないという風に思っております。以上です。

金井委員長

はい、ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

今、小島さんから、ご意見ありました、労働災害、建設キャリアアップシステム、建設DXについて、現場サイドから現状と課題があればご意見いただきたいです。松島委員、橋本委員、現場の実感としてはいかがでしょうか。例えば、労働災害、特に熱中症対策が重要な課題だと小島委員からご指摘がありました。現場では、この夏の状況はいかがでしたでしょうか。

橋本委員

熱中症対策ではないんですけど、一応、現場に、WBGTも測る機械を置いて、何度になったっていうのは、継続しながらの仕事にはしてたんですけど、これで、この日、休もうというの

	<p>は、現実的には、ちょっと、厳しいかなと思います。なので、休憩を長くしたり、テントを置いてというのを、今のところしてます。</p>
金井委員長	<p>はい、ありがとうございます。 松島委員さん、いかがでしょうか。建設キャリアアップシステムや建設DXの導入は、負担が大きいと考えている建設事業者も多いのでは、と想像します。いかがでしょうか。</p>
松島委員	<p>はい。弊社の方は、土工の方はそんなに大規模な工事はしておりませんので、導入がまだ進んでないのは、正直なところなんですけども、結構聞いています。大きい現場でされてる会社さんとかだと、結構、導入されてるところもあつたりとかですね。取り組んでるところは、取り組んでますし、気にしてないこと、すごい差がこれからますます出てくるんじゃないかなという風に思っております。</p>
金井委員長	<p>どういう支援があれば、格差が縮まると思えますか。何かアイデアはありますか。</p>
松島委員	<p>そうですね。やっぱり、今までしたことなかったことに、特に年配の方と言うとあれですけども、抵抗を示される方が多いかなと思いますので、そこをいかに説得というか、理解してもらっていかってところを、根気強く説明して、システムもできるだけ簡単なものになっていけば、取り組みやすくなるのかなとは思っています。</p>
金井委員長	<p>はい、ありがとうございます。他、いかがでしょうか。 佐藤委員さん、14番から16番、21番に関して何かご意見ありましたらお願いします。</p>
佐藤委員	<p>はい。弊社も若者、高校生向けの建設工事現場見学会などに、若手が参加させていただきました。コロナがあけて、身近な先輩が高校生に伝えることは、YouTubeなどを見て知ることより、印象に残りやすいと思いました。リアルに体験をすることや話を聞く機会が、本当に重要だと思って思います。弊社としても、参加して良かったと印象がすごく良かったようです。このようなイベントは、企画するのがすごく大変だとは思いますが、入職促進に向けて、いろいろとご準備いただけたらと思います。</p>
金井委員長	<p>ありがとうございます。小中学校の教員の先生や保護者から、もっとこういう内容のものをしてほしい、こういう時期に実施して欲しいなどの要望はありますか。</p>
佐藤委員	<p>特になかったんですけど、うちの息子の学校で、ドローンの体験がありました。それはすごく良かったですね。体育館の中でドローンの操作をするイベントでした。</p>
金井委員長	<p>なるほど。体育館の中ですから、天気を気にせずに行えますね。</p>
佐藤委員	<p>風にも飛ばされないなので、安心して体験ができます。子供たちからもすごく好印象でした。</p>
金井委員長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 はい、お願いいたします。</p>
南委員	<p>建災防 南です。 検査事業における労働災害件数についてなんですけど、私も安全パトロールを何度か行かせていただくんですけど、リスクアセスメントをやっているところと、やってないところと、聞いて</p>

	<p>ていくんですけど、案外、やってないところが多いんですね。リスクアセスメントは、努力義務なので、法的な強制力はないんですが、労働災害を減らすためには、やっぱり、このリスクアセスメント、事前に、どういうリスクがあるのかっていうのを、まず、現場でやるというのが1番大事なことなのじゃないかなという風に感じております。それで、安全施工サイクルっていうのがありまして、色々ミーティングとかやっている中で、危険予知活動とかもされていると思うんですが、なかなか機がないのかもわかりませんが、働き方改革等で余力ができた時間を利用して、リスクアセスメントを実施していくような活動を、ぜひとも、周知というか徹底していただけたらなという風に建災防では考えております。以上です。</p>
金井委員長	<p>はい、ありがとうございます。安全講習はたくさん実施されているようですが、それ以外に何か、安全向上のためのリスクマネジメントの方法はありますか。</p>
南委員	<p>リスクアセスメントって言いますと、ある程度人数が集まって、みんなで討議して、どういうリスクがあるのかということについて協議しなければならぬので、時間もかかるし、それから人も集めなければならぬということで、時間と工数、結構かかると思います。少し大掛かりな、面倒なところもあると思うんです。ですけれども、現地っていう形ではあるんですけど、おそらく、その現場へ行く前に、今日の危険な箇所について、まず、危険なポイントはないかとか、じゃあ、今日はこういうことに注意して、作業するんだという風なことを、施工サイクルの中で、朝のミーティングの中でやっていただくということを徹底すれば、簡単にできるんじゃないかなという風に思います。</p>
金井委員長	<p>はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 はい。お願いいたします。</p>
土橋委員	<p>社会保険労務士の土橋です。 この計画の取り組みを、拝見させていただいて、キャリアアップや、週休2日制のような制度も、様々取り組まれてるというのは分かったのですが、私たちが実際の企業様に行った時には、「週休2日制は分かるし、休みを増やさないと、若い人が来ないことも分かる。だけど、昔からずっと日給で払ってるんだ、だから休日を増やすと言ってもみんな働きに来てしまうんだ」みたいな話があって、賃金の払い方といった、労務管理の方法なども一緒に取り組んでいかないと、実際のところは進んでいかないのではないかと思います。月給制に変更するにも、どのような制度にすればいいのかとか、休みが多い時はどうすればいいんだとか。現場のお客様のところでは、いろんな質問が出ますので、できれば、労務管理についても一緒に、アドバイスできるといいのではないのでしょうか。建設業協会さんにもご協力いただいて、働き方改革推進支援センターを労務管理の相談窓口にしていただくという取り組みと一緒にさせていただいてますが、まだまだ、アプローチできてない会社さんが多いというのを感じております。今後、その辺をどのようにするかということも考えていただきたいと思っております。</p>
金井委員長	<p>はい、ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 はい、よろしいですか。 それでは、いただいたご意見については、今後の計画推進の参考にさせていただき、この徳島県計画進捗状況について承認いただくということでよろしいでしょうか。 はい、ありがとうございました。</p>

(2) その他	
金井委員長	<p>では、続いては、議事の(2)その他について、何か本計画についてご意見があれば発言をお願いしたいと思います。はい、お願いします。</p>
小島委員	<p>公共で言えば、やはり徳島県24市町村の指導というか周知徹底をぜひともお願いをしたい。市町、整備局でも懸念があって、それぞれご指導いただいているところですけども、その意識が薄いのかなと、もう少し市町村の人たちがやってくれと、建設業務の中小企業の皆さんが、もっと真剣に取り組んでくれるようになるのではないかなと思っています。ある町では、最低制限価格の無いようなところもいまだにありますので、その辺りの指導も含めて、公共に限ってですけども、そういうことをやっていただければ、民間工事の方にも、効果は現れてくるんじゃないかなと思いますので、よろしくお願いをいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。最低制限価格の設定、そして低入札調査基準価格の設定、これはもう、設定されてない、そして、低い値になっているというのはまさしくダンピングに繋がるということで、結局、ダンピングにつながるということは、賃金の行き渡りにつながるということになってきますので、我々といたしましても、これも最重要な課題といたしまして、我々一緒に協会さんとやりとりさせていただいていた結果、考えの中でしっかりいただいておりますので、その後、12月に開催しました品確協の徳島県部会におきましても、市町村の方にこちらについて重点的に、はっきりダンピングに繋がるという趣旨のことを言わせていただきました。ただ、この回で来られている方が、やはり若い方が、事務的な方が来られていたりというような形もありますので、直接市町村に行って、できるだけ上の町の方に、これはこうでダメですよっていうのを説明して、こういうことを解消できるように、しっかりやらせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。</p>
金井委員長	<p>はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 なんでも結構ですので気になっているようなことがありましたら、ぜひご意見下さい。 いかがでしょうか。 はい。では、特にご意見ないようですので、議事の(2)その他についても終了させていただきたいと思えます。それでは、進行を事務局の方にお返しします。</p>
事務局	<p>はい。ありがとうございます。 これを持ちまして、令和5年度建設工事従事者の安全及び健康の確保並びに処遇の改善に関する徳島県計画推進会議を閉会させていただきます。 皆様には、お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。 今後ともご協力のほどよろしくお願いをいたします。</p>